

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
■基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 3月31日
中間配当を行う場合 9月30日
そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 定時株主総会 毎年6月下旬
■単元株式数 100株（平成26年4月1日より）
■株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店および営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わ せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買 はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手 続を行っていただく必要があります。

- 公告方法 電子公告（<http://www.se-corp.com/ir/koukoku>）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○配当金計算書について
租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内



当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報はもちろんのこと、当社をより理解していただくための様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.se-corp.com>

株主通信

第34期

平成26年4月1日～平成27年3月31日

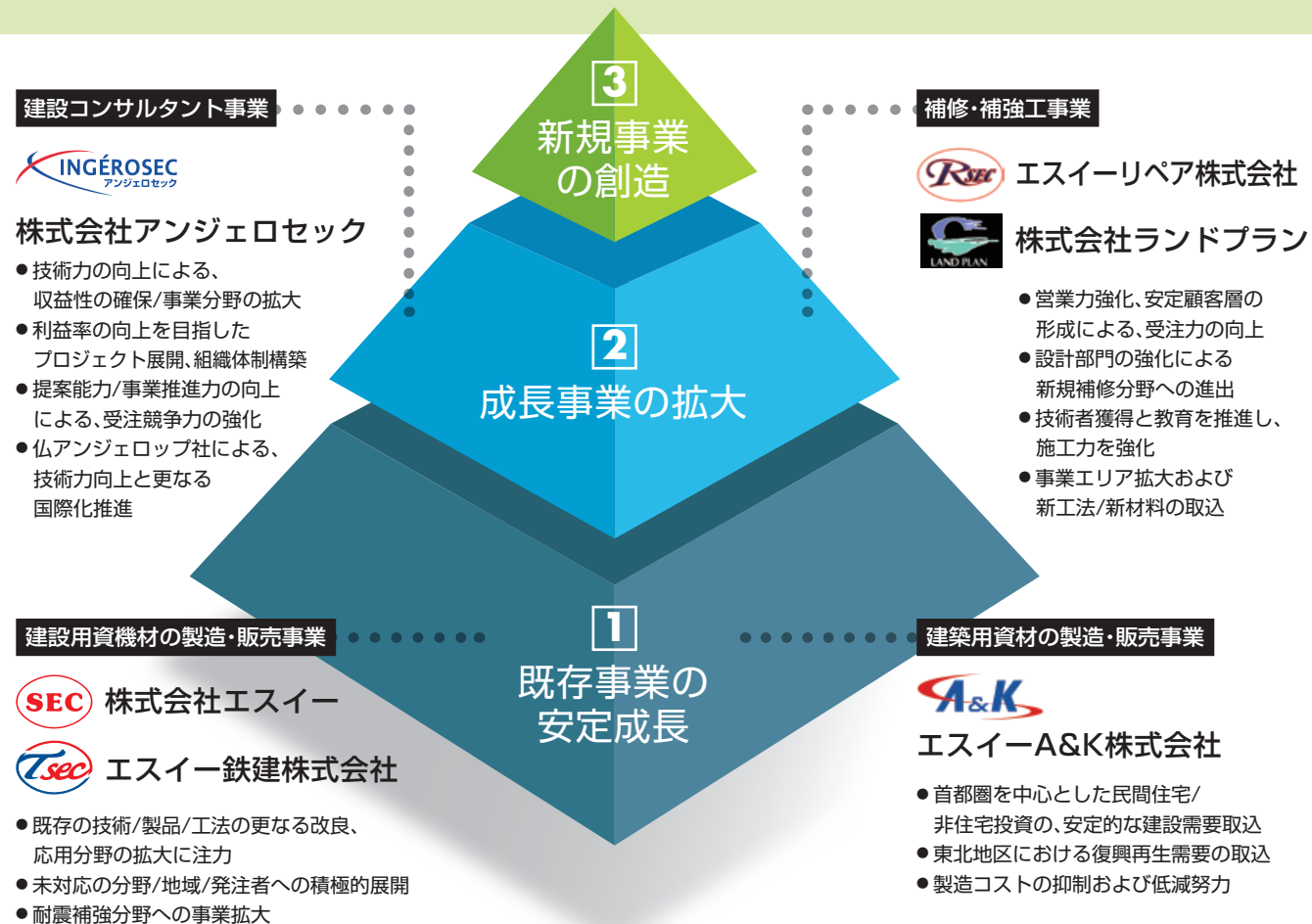
●目次

- －エスイーグループの戦略
- －特集 Special Interview
- －エスイーグループ事業紹介
- －連結決算ハイライト
- －事業の状況
- －連結財務諸表
- －新会長・新社長就任のご報告
- －会社情報
- －株式情報

エスイーグループの戦略

エスイーグループでは、既存事業の安定成長と成長事業の拡大のみにとどまらず、更なる発展のための成長戦略に挑戦してまいります。

戦略的 M & A の推進 超高引張強度コンクリート(通称ESCON)の実用化とマーケティング 海外事業展開



特集
Special
Interview

株式評論家・櫻井英明氏が探る
エスイーの現在—そして未来



更なる成長と、その先の新たな地平を見据えて——

昨年度に続き、株式評論家の櫻井英明氏が平成27年3月期の取り組みや今後の成長戦略について森元峯夫会長に聞くスペシャルインタビューをお届けします。多くの投資家から支持を集める櫻井氏が、エスイーの今、そして具現化しつつある今後の可能性を探りました。

森元峯夫 × 櫻井英明

● 災害の多い日本が避けて通れない ● 「環境防災」という最重要テーマ

櫻井 当期（平成27年3月期）の業績は、増収減益という結果となりましたが、順調に推移した売上に対して、利益が減少したのはどのような要因によるものでしょうか？

森元 「建設用資機材の製造・販売事業」において、平成26年4月にM&Aによって子会社化したエスイー鉄建（株）が売上の伸長に寄与する一方で、建設労務者不足に起因する工期延長によって工場製品の納入遅延や公共事業の予算執行の遅れが発生しました。また、「建設コンサルタント事業」において、海外の一部での施工監理案件が政情不安などの理由から工期遅延が生じたことも影響し、売上総利益率が低下しました。ただし、国内での人手不足について言えば、建設業界も賃金面などを含めて体質改善に努めており、インフラ整備自体の必要性は以前にも増して高まっていることから、いずれは解消に向かうと



プロフィール 森元肇夫
(株)エスイー代表取締役会長。(株)アンジェロセック代表取締役CEO。工学博士。フランス共和国国家功労賞コマンドゥール勲章、国際プレストレストコンクリート連合FIPメダルなど受賞多数。

考えています。
櫻井 昨年8月には広島市で大きな土砂災害も発生しましたが、確かに「国土強靱化」という安全・安心なインフラ整備や防災対策の重要性はますます高まっていますよね。

森元 これはもう待ったなしです。ご存知の通り日本は災害の多い国ですが、特に豪雨などによる地すべりと地震対策は喫緊の課題で、国は他の公共事業よりも優先的に対処すべきでしょう。そういう意味で、当社にとっても「環境防災」は非常に重要なテーマだと認識しており、今後最も注力していきたい分野のひとつと言えます。

櫻井 現時点で、耐震補強など公共インフラの防災・減災対策は全国的にどの程度進んでいるのでしょうか？

森元 特に地方はまだこれからという状況です。火急の責務であるこうした防災・減災対策をさらに加速させていくためにも、「建設用資機材の製造・販売事業」において、前述のエスイー鉄建（株）のほか、今年4月にはM&Aによって（株）森田工産も子会社化しています。

● 厳しい環境下でも着実に成長する ● 国内外における各事業分野の動向

櫻井 一方で、「建築用資材の製造・販売事業」の状況はいかがでしょうか？

森元 東日本大震災以降、業容が拡大していますが、当期も特に首都圏のマンション建築工事が増加する中で売上高も順調に推移しています。ただし、自社製品の製造・販売という形だけでなく、併せて多種多様な商品を販売するなど、ビジネスモデルは少しずつ変わりつつあります。

櫻井 「建設コンサルタント事業」は、海外でも積極的に展開されていますね。

森元 先に触れた通り、（株）アンジェロセックが中心となって進めている海外事業では、一部の施工

監理案件での工期遅延の影響もあり、当期の業績目標は未達となりました。一方、ベトナムでは、施工監理業務を担ってきたハノイ-ハイフォン間の高速道路の建設が今年中にほぼ完了する見通しです。ほかにもベトナムでは、JICA（国際協力機構）の支援を受けて地すべり対策関連の案件も進行中です。

櫻井 海岸線が長く、背後には山が迫る細長い国土のベトナムでは、御社の建設関連技術やノウハウが大いに活躍しそうですね。「補修・補強工事業」についてはいかがでしょうか？

森元 労務単価と資材単価の上昇や新規参入業者の急増で事業環境としては厳しくなりましたが、橋とトンネルに関する豊富なノウハウをもったエンジニアが活躍し、特に利益率の高い調査・設計部門が非常に好調で業績に寄与しました。今後も受注確保に向けて設計部門の強化や施工力向上、新工法や新材料の拡充などに注力していく考えです。

● 短期間に確かな成果を上げてきた ● 人を大切にするM&Aをさらに推進

櫻井 今後の成長戦略についてはどのようにお考えでしょうか？

森元 まず大きな方向性としては、緊急性の高い社会インフラの老朽化対策や防災・減災対策を担う「建設用資機材の製造・販売事業」「建築用資材の製造・販売事業」「補修・補強工事業」をベースプラットフォームと位置付け、これらの事業でシェアを確保・拡大しながら、3つのことに取り組んでいきたいと考えています。1つ目は、公共事業だけに頼らない経営基盤を確立するためのM&Aによる速やかな事業拡大です。

櫻井 一般に難しいと言われるM&Aで、御社はスピーディーに成果を上げておられますが、その成功の秘訣はどんなところにあるのでしょうか？



プロフィール 櫻井英明
ストックウェザー「兜町カタリスト」編集長。最新経済動向を株式市場の観点から分析した独特の未来予測に定評がある。ラジオNIKKEIでは火曜「ザ・マネー 櫻井英明のかぶとびら」、木曜「櫻井英明の投資知識研究所」などに出演。

森元 何よりも大切なのは、その会社の人を大切にすることです。そうすることで従業員の方のやる気を引き出し、組織が活性化してイノベーションが生まれやすい環境になります。

櫻井 まさに仲間になってもらう感覚で、M&Aも「共存共栄」という考え方が大切なのですね。ちなみに海外企業に対するM&Aについてはいかがでしょうか？

森元 国際関係は変化が激しく非常に流動的ですから、海外についてはその国情や国民性なども慎重に見極めながら、M&Aの前にまずは相手方の会社に出資して合併でビジネスに取り組むというステップを踏む必要があると思います。

● 多様な分野への用途拡大を進める ● 新素材「ESCON」の大きなポテンシャル

櫻井 つまり、国内ではM&Aで業域や業容を拡大しながら、海外では信頼できるビジネスパートナーと組む、という方針ということですね。

森元 多くの大企業も最初は小さな会社からスタートしてM&Aによって成長していったわけですから、特にM&Aはさらに積極的に推進していきます。そして2つ目の成長戦略と位置付けているのが、安全な社会インフラの建設・維持管理を見据えた構造物の長寿命化への挑戦です。具体的には当社が開発した超高引張強度コンクリート「ESCON」シリーズの製品化と製品ラインナップの拡充を推進していきます。

櫻井 引張強度や圧縮強度が非常に高く、耐久性に優れていて構造物の長寿命化にも寄与する素晴らしい素材ですね。

森元 さらに従来のコンクリートよりも軽量化できるため、現場の省力化や工期の短縮化も可能になります。これは、現在の建設労務者不足という問題に対するひとつの有効な方策にもなるはずです。

櫻井 国土交通省が中古住宅市場の活性化を推進していますが、ESCONを使えばこれまで以上に建築物を長寿命化できて、国の方針にもマッチしますよね。

森元 そうですね、橋梁などのインフラだけでなく、住宅やビルといった建築分野への適用も今後進めていきたいと思っています。ESCONは、高強度なうえ軽量なので高層ビルなどの耐震性向上という点でも大きなメリットが期待できます。現在は様々な用途に向けた試作品を作ってテストを重ねている状況ですが、ほかにも、海洋構造物や放射線遮断容器といった応用分野への用途拡大を図っていく考えです。

● ベトナムを中心に東南アジア諸国へ ● さらに広がる海外での事業展開

櫻井 成長戦略の3つ目はどのようなものでしょうか？

森元 海外市場への展開です。国内の建設市場は今後一段と厳しさを増しますので、まずは先ほどもお話ししたベトナムでビジネスの足場を固め、さらに近隣の東南アジア諸国に事業展開していきたいと考えています。

櫻井 注目を集める中国主導のAIIB（アジアインフラ投資銀行）に対抗して、日本主導のADB（アジア開発銀行）、さらにJICA（国際協力機構）といった国際組織の活動もこれまで以上に活性化しそうですが、この動きは御社の海外事業にとって追い風になるのではないのでしょうか？

森元 そうですね、アジア経済圏は大きな力を持ち始める入り口にいますが、経済・産業が急速に伸びていくためにはインフラが必要不可欠です。当社グループとしては、合併会社を作って事業を現地化したベトナムを足掛かりに、東南アジアのインフラ市場に集中していきたいと考えています。

櫻井 日本の製造業など、ベトナムに進出する企業は増えているようですね。

森元 現地では来年から粗鋼年産700万トン規模の巨大製鉄所が稼働を始めますが、「鉄は国家なり」という言葉どおり、製鉄所が成功することで、その他の産業も成長していくものです。当社グループでは合併企業を通じて、国土やインフラの整備などベトナム国外から進出してくる企業を受け入れる土壌づくりを着々と進めているところです。



● よりよい社会の実現に寄与する ● 様々な領域での新たなチャレンジ

櫻井 これまでのお話を聞きながら、御社はさらに大きな成長への道の途上にあるという印象を強く受けました。御社だからこそできることが、まだまだたくさんあるような気がいたします。

森元 人と社会の安全に寄与したいという願いから生まれたエスイーという会社にとって、最初に申し上げた「環境防災」は非常に重要な使命です。また併せて、これまで当社が培ってきたPPPなどの実践ノウハウや、ESCONの特性などを生かしながら、「地方創生」というテーマにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。地方の建設業界が活性化すれば周囲の産業も元気になり、その地方全体の活性化にもつながるはずで

櫻井 各地でそういう動きが起これば当然、日本の国全体ももっと元気になれるですね。では最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

森元 新製品や新工法のための研究開発費は確保しながら、引き続き安定的・継続的な配当の実施をお約束したいと思います。また、今後は中期的に売上300億円企業を目指しつつ、時代が求める新たな技術領域にも果敢に挑戦してまいります。どうぞ末永いご支援とご協力をお願いいたします。

櫻井 御社の今後の活躍に注目しております。本日はありがとうございました。

森元 はい、ぜひご期待ください。ありがとうございました。

PPP：Public Private Partnership（官公庁と民間の提携事業方式）

インタビューを終えて

既存事業の安定と成長事業の拡大を柱に新規事業を創造してきたエスイー。国内では社会インフラの老朽化対策や防災・減災対策、海外ではベトナムなどで新たな社会インフラを提供し官からも民からも頼りにされているエスイー。森元会長のお話の随所にこれがちりばめられていました。スピード感を持ったM&Aの継続も新たな価値創造への中核。アンテナの濃密さや新素材ESCONに対する使命感は同社の大きな未来への礎だと確信しました。

櫻井英明

エスイーグループ事業紹介

安心・安全で快適な暮らしのために、
様々なフィールドで貢献しています。

建設用資機材の
製造・販売事業
(株)エスイー
エスイー鉄建(株)

建築用資材の
製造・販売事業
エスイーA&K(株)

建設コンサルタント
事業
(株)アンジェロセック

補修・補強工事業
エスイーリペア(株)
(株)ランドプラン



マンションの仮設・内装建材



港湾などの耐震補強



学校などの耐震補強



オフィスビルの仮設・内装建材



橋梁の構造強化



橋梁の設計



橋梁の補修補強



高速道路など道路橋の構造強化



斜面の地すべり防止



トンネルの補修補強



海外の開発援助



公共事業・ODA等のコンサルティング

海外での
事業展開



韓国 KOREA SE CORPORATION
(株式会社コリアエスイー)
●建設用資機材の製造・販売事業



ベトナム VJEC (Vietnam Japan
Engineering Consultants Co., Ltd.)
●建設コンサルタント事業



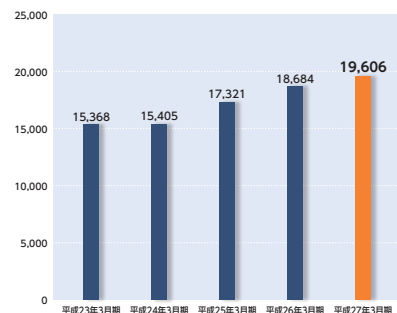
台湾 九春工業股份有限公司
●建設エンジニアリング事業



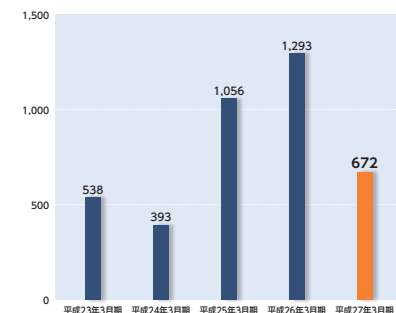
フランス アンジェロップ社
アンジェロップ社は、社会インフラ、公共交通、水道施設、建築物など多岐にわたる技術力やネットワークを持ち、世界各国で活躍するフランスのエンジニアリング会社です。当社は、世界最高水準の技術を有するアンジェロップ社と創業以来の協力関係にあり、国内外において共同で事業を展開しています。

● 連結決算ハイライト

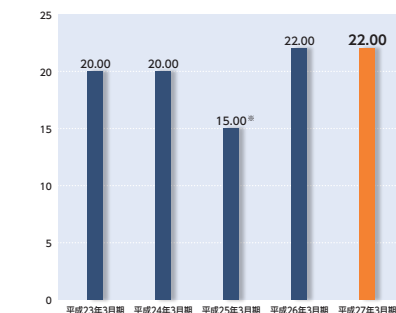
連結売上高 (単位: 百万円)



連結経常利益 (単位: 百万円)



連結修正1株当たり配当金 (単位: 円)



※平成25年1月に実施した株主割当増資により株式数がほぼ倍増するなか、配当金は増資に応じていただいた株主様に対して実質50%増にあたる1株15円といたしました。

● 平成27年3月期決算（連結）のポイント

① エスイー鉄建(株)の子会社化が売上高に寄与

建設用資機材の製造・販売事業において、公共事業費の予算執行が遅れるなど厳しい市場環境が続くなか、当期より子会社化したエスイー鉄建(株)が売上高に寄与いたしました。

② 工事遅延などの影響により利益減少

労務者不足からくる工期延長による製品納入遅れや、建設コンサルタント事業の海外施工監理業務の一部において政情不安等から工期延長が発生したことで売上総利益が減少いたしました。

● 平成28年3月期の連結業績における見通し

建設業界においては、受注競争の激化に加えて建設技能労働者の不足や労務単価の上昇、資材価格の高止まりなど依然として厳しい経営環境が続くものと予想されますが、当社グループが関与する事業では、政府の「国土強靱化」政策により、引き続き、社会インフラ老朽化への社会的関心の高まりが期待できることから、市場環境は良好に推移するものと思われま。

平成27年3月期連結決算ハイライト

売上高	196億6百万円 (前期比4.9%増)
経常利益	6億72百万円 (前期比48.0%減)
配当金	22円

平成28年3月期連結業績予想

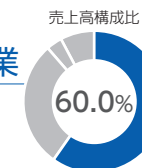
売上高	205億円 (前期比4.6%増)
経常利益	11億円 (前期比63.6%増)
配当金	22円

● 事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

建設用資機材の製造・販売事業

(株)エスイー
連結子会社：エスイー鉄建(株)



売上高 117億69百万円 (前期比 5.8%増)

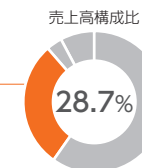


厳しい市場環境のなか、子会社のエスイー鉄建(株)が売上高に寄与いたしました。利益面では、公共事業予算執行の遅れや労務者不足の影響から、工期延長による納入遅延が発生し、また研究開発費の増加により、営業利益は減少いたしました。

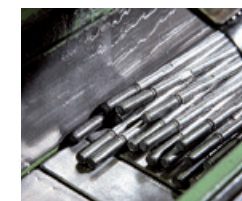


建築用資材の製造・販売事業

連結子会社：エスイーA&K(株)



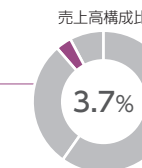
売上高 56億34百万円 (前期比 5.3%増)



職人の慢性的不足が解消されていないものの、建築工事は増加傾向であるため、主に首都圏市場で資材販売が順調に推移いたしました。利益面では、原材料価格上昇の中、製造原価低減努力および販売価格への転嫁を推進しておりますが、依然厳しい市場環境から、営業利益は前期と同水準となりました。

建設コンサルタント事業

連結子会社：(株)アンジェロセック



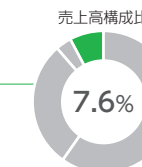
売上高 7億16百万円 (前期比 21.1%増)



受注物件の確保ならびに継続受注物件の業務活動を行い、国内外における設計業務等を完工しました。利益面では、海外の一部施工監理業務において、工期遅延に伴う予定外の経費発生等により、売上総利益率が低下いたしました。

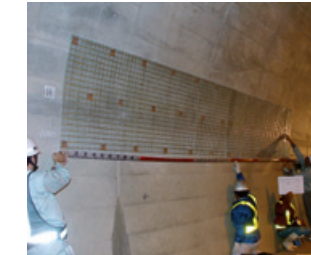
補修・補強工事業

連結子会社：エスイーリペア(株)
(株)ランドプラン



売上高 14億85百万円 (前期比 8.3%減)

「国土強靱化」政策やインフラ老朽化対策である橋梁、道路、トンネルなどの改修計画の具体化など追い風を受ける環境ではありましたが、労務単価や資材単価の上昇、新規参入業者の急増などにより、競争は厳しさを増す状況で推移いたしました。利益面では、引き続き「調査・設計業務」、「材料販売」が好調でありました。

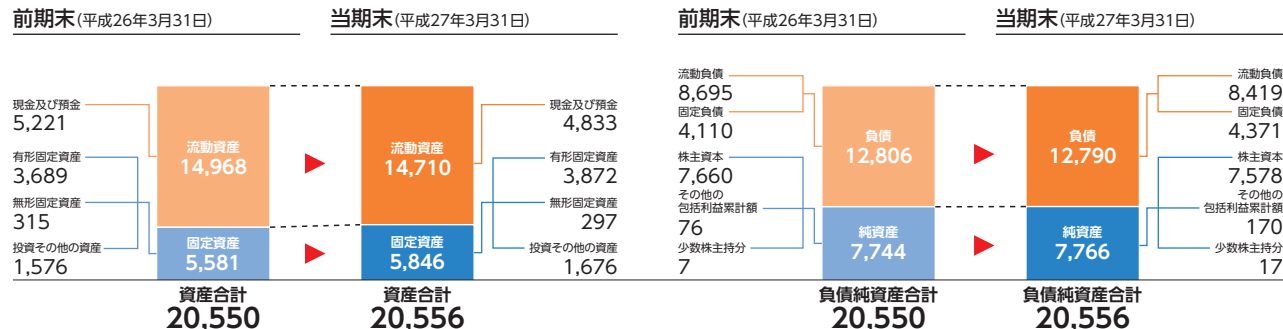


※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

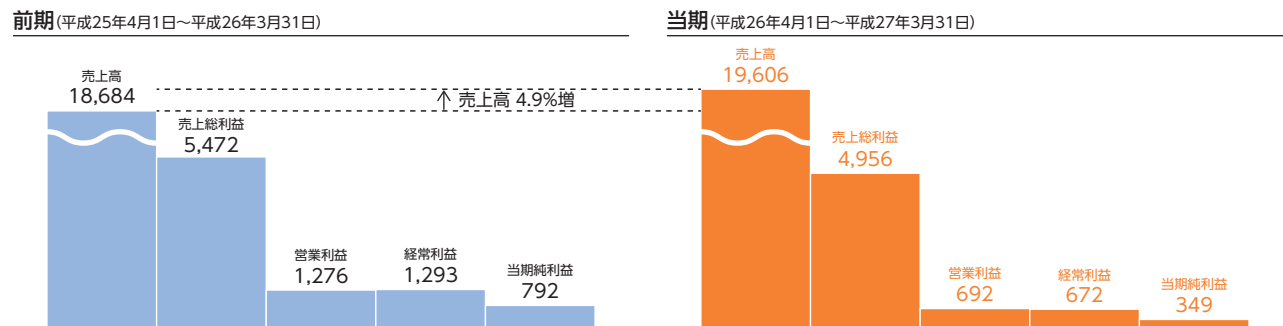
● 連結財務諸表

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

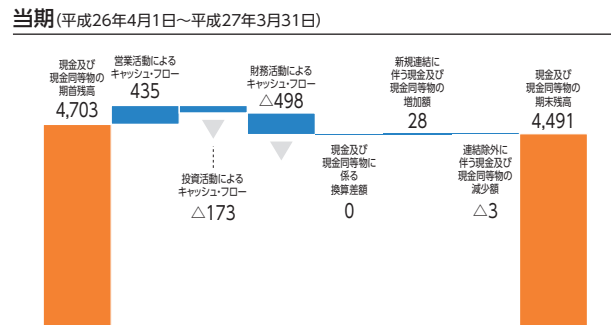
連結貸借対照表 (要旨) (単位: 百万円)



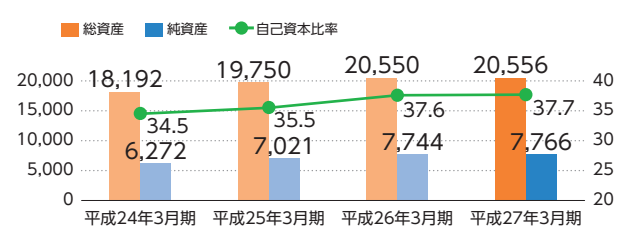
連結損益計算書 (要旨) (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)



総資産・純資産 (単位: 百万円) 自己資本比率 (単位: %)



より詳しい財務情報は、IR情報サイトをご覧ください。

エスイー IR 検索 <http://www.se-corp.com/ir/>

● 新会長・新社長就任のご報告

平成27年6月26日をもちまして、今後の事業領域拡大を見据え、更なる経営管理体制の強化を目的として、当社代表取締役は下記の通り就任いたしましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役会長 執行役員会長 森元 峯夫 (前 代表取締役社長 執行役員社長)
代表取締役社長 執行役員社長 大津 哲夫 (前 代表取締役副社長 執行役員副社長)

役員社員一同、心を一つにして社業発展に努めてまいりますので、変わらぬご高配ならびにご支援賜りますようお願い申し上げます。

● 新会長就任ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて 私儀、当社グループの今後の事業領域拡大を見据え、更なる経営管理体制の強化を目的として、6月26日をもちまして代表取締役会長に就任いたしました。

社長在任中に賜りました格別のご厚情に対し心より厚く御礼申し上げますと共に、引き続き変わらぬご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお 後任社長には前代表取締役副社長の 大津 哲夫が就任いたしましたので、私同様お引き立て賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 森元 峯夫

● 新社長就任ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

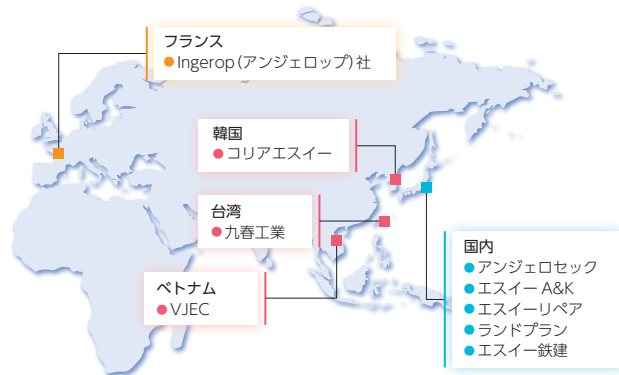
さて 私儀、このたび森元 峯夫の後任として代表取締役社長に就任いたしました。

業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す折から、その責務の重大さを痛感いたしておりますが、今後役員・社員一致団結して社業発展のため専心努力いたす所存でございますので、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大津 哲夫

● 会社情報 (平成27年3月31日現在)

商号 株式会社エスイー
 所在地 〒163-1343
 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)
 創業 昭和42年8月
 設立 昭和56年12月
 資本金 12億2,805万円
 従業員数 単体190名、連結414名
 グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売
 ・環境防災分野
 ・橋梁構造分野
 ・PPP/コンセッション分野
 2.建築用資材の製造・販売
 3.建設コンサルタント
 4.補修・補強工事
 5.その他 (超高引張強度
 コンクリートの開発等)
 関係会社 (株)アンジェロセック (連結)
 エスイーA&K(株) (連結)
 エスイーリペア(株) (連結)
 (株)ランドプラン (連結)
 エスイー鉄建(株) (連結)
 (株)コリアエスイー (持分法適用、韓国)
 (有)日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム)
 九春工業股份有限公司 (台湾)
 協力会社 アンジェロップ (フランス)



役員 (平成27年6月26日現在)

■取締役・監査役

代表取締役会長
執行役員会長 森 元 峯 夫
 代表取締役社長
執行役員社長 大 津 哲 夫
 取締役 執行役員副社長 石 崎 浩
 取締役 執行役員副社長 岡 本 哲 也
 取締役 専務執行役員 塚 田 正 春
 取締役 常務執行役員 本 間 誠 治
 取締役 常務執行役員 戸 澤 憲 行
 取締役 執行役員 杉 山 浩 之
 取締役 執行役員 久 賀 泰 郎
 取締役 (社外取締役) 岡 俊 明
 取締役 (社外取締役) 梶 山 芳 孝
 監査役 (常勤) 鈴 木 章 二
 監査役 寺 石 雅 英
 監査役 菅 澤 喜 男

■執行役員 (取締役を兼任するものを除く)

執行役員 中 村 賢 一
 執行役員 和 田 弘
 執行役員 水 城 康 男
 執行役員 市 川 真 佐 史
 執行役員 石 野 隆 之
 執行役員 永 野 誠 史

● 株式情報 (平成27年3月31日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 27,400,000株
- 発行済株式の総数 15,628,300株 (うち自己株式674,218株)
- 株主数 3,346名
- 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社エヌセック	4,786,000	32.0
森元峯夫	499,000	3.3
大津哲夫	490,000	3.2
岡本哲也	485,000	3.2
前田昌則	468,000	3.1
高橋謙雄	400,000	2.6
鈴木昭好	265,000	1.7
竹島征男	250,000	1.6
森元伸一	240,000	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	235,600	1.5
合 計	8,118,600	54.2

(注) 持株比率は、自己株式 (674,218株) を控除して、計算しております。

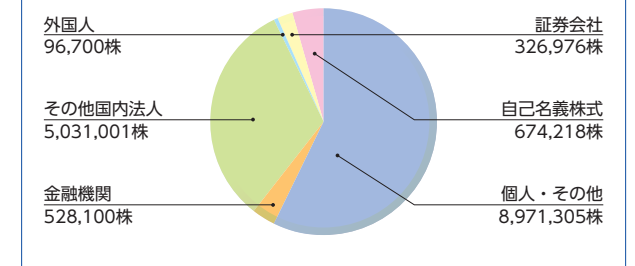
株主優待のご案内

日頃のご支援にお応えし、株主の皆様により一層長期にわたって保有していただくことを目的として、平成27年3月期より、1,000株以上で平成27年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様を対象に、保有年数に応じて優待相当額が増加する基準を加え、より魅力度の高い仕組みに変更いたしました。
 災害時に備える防災用品や非常食をはじめ保有期間別の品目リストより株主様が選ばれた一品目を贈呈いたします。

保有期間	優待内容
1年未満	複数の品目 (一律1,000円相当) リストの中から選ばれた一品目。
1年以上3年未満	複数の品目 (一律3,000円相当) リストの中から選ばれた一品目。
3年以上	複数の品目 (一律5,000円相当) リストの中から選ばれた一品目。

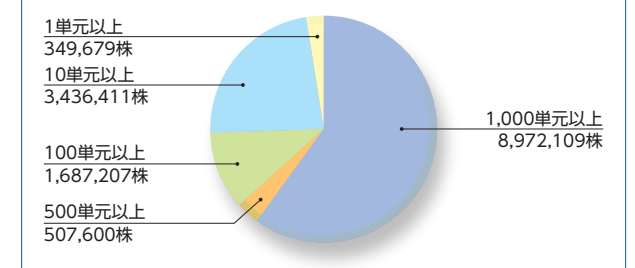
※1 期限までにお申し込みがない場合は、当社より社会貢献団体への寄付 (優待内容相当額) とさせていただきます。
 ※2 「株主様ご優待のご案内」は別送させていただいておりますのでご注意ください。

●所有者別株式分布



※「その他国内法人」には証券保管振替機構名義株式 (1名,2,000株) が含まれておりません。

●所有株式数別株式分布



※「所有株式数別株式分布」には自己株式および単元未満株式を含めておりません。
 ※「所有株式数別株式分布」には証券保管振替機構名義株式 (1名,2,000株) が含まれておりません。